

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号： 9 事業名： 優良乳用供卵牛選抜事業

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
諸平アドバイザー	<p>受精卵供給促進事業とはどういった事業か？受精卵に対する何か補助を行っているのか？</p> <p>それら三つを一体として取り組むことで、乳量の増加に取り組んでいくのか？</p> <p>民間で受精卵を販売している業者がいるようだが、県内の農家か？</p> <p>推移を見ると、民間の受精卵が減っているようだが、何か事情があるのか？</p> <p>受胎率は40%とのことだが、受胎なくて、もう1個受精卵を購入すると、追加で費用が発生するのか？</p>	<p>課長 鎌田 健義 主任 内田 雄祐</p> <p>課長 鎌田 健義</p> <p>課長 鎌田 健義</p> <p>課長 鎌田 健義</p> <p>課長 鎌田 健義</p>	<p>牛を育てて良い牛を選ぶまでが、優良乳用供卵牛選抜事業。選んだ優良な牛から受精卵を生産して販売するのが、受精卵供給促進事業であり、補助等を行う事業ではない。また、受精卵から産まれた牛などの農家段階での能力を調べる為の検定の補助を行うのが乳用牛群検定推進事業である。</p> <p>はい。</p> <p>いいえ。県内に受精卵を生産する業者はない。</p> <p>民間業者の受精卵の価格が高いこと。また、農家が民間の受精卵よりも県で生産した受精卵を高く評価して頂いている結果であると考えている。</p> <p>はい。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職氏名	回答内容
諸平アドバイザー	他県では、受胎保証制度を行っているところもあるようだが？	主任 内田 雄祐	千葉県が、全国で唯一、受胎保証制度で受精卵を販売している。
	受胎しないこともある？	主任 内田 雄祐	移植する母親の栄養状態も関係してくることなので、100%受胎すると言うことは難しい。
五味アドバイザー	別紙資料4の優良乳用供卵牛選抜事業の収入はセンター全体の収入か？	主任 内田 雄祐	事業の対象となっている牛からの収入である。
	受精卵の販売金額は入っている？	主任 内田 雄祐	入っていない。受精卵の販売金額は受精卵供給促進事業に入っている。
	子牛も売るのか？	主任 内田 雄祐	雄子牛など、乳生産を出来ない牛を販売している。
	生産して、残った(余った)受精卵を他県に売るといことはないのか？	課長 鎌田 健義 主任 内田 雄祐	ない。事業目的として、県内の畜産振興に資するために、事業を実施している。他県に販売するのは、事業趣旨と異なると考えている。
小口アドバイザー	余った受精卵は、保存出来るのか？	主任 内田 雄祐	液体窒素で凍結保存するため、半永久的に保存は可能である。しかし、NTPが毎年更新されるため、選抜時に優秀であった牛も年が経つにつれ、相対的に評価が下がってくる。そのため、販売に適さなくなってしまう、売れなくなる。
	山梨県でやっている受精卵のレベル(優良乳用供卵牛の評価)は全国的にどの程度なのか？他県に自信を持って売れるのか？	課長 鎌田 健義 主任 内田 雄祐	供卵牛の選抜基準は、総合指数(NTP)で全国の上位25%以上と定めているため、全国的にも優れた能力である。県の事業でやっていることなので、他県に出してはもったいない。

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	<p>全体の農家数が何件いるのか、またその中で受精卵を購入している農家数はどの程度か。</p> <p>継続利用があるのか？</p> <p>人工授精と受精卵で全てを賄うのか？受精卵の割合を増やしていきたい？</p> <p>受精卵供給促進事業として、より多くの受精卵を供給するために、どんなことをしているのか？</p> <p>県有乳用牛と、受精卵供給の各県の違いがあるのはなぜか？千葉県も山梨県も県有牛の数に大差は無いようだが。</p> <p>山梨県が受精卵生産について、千葉のような先進県から学ぶべき点がまだある？</p> <p>市場の共通化というのは無いのか？</p> <p>受精卵の技術レベルは、各県で差がある？</p>	<p>主任 内田 雄祐</p> <p>主任 内田 雄祐</p> <p>主任 内田 雄祐</p> <p>主任 内田 雄祐</p> <p>主任 内田 雄祐</p> <p>主任 内田 雄祐</p> <p>主任 内田 雄祐</p> <p>課長 鎌田 健義</p>	<p>全体で、67戸ある、その中で購入している農家数が15～20戸。近年は高齢化による廃業などで、2～3戸継続的に利用していた農家が減ってしまった。利用農家の固定化は課題である。</p> <p>はい。</p> <p>妊娠させる手段としては、基本的に人工授精と受精卵移植のみ。受精卵移植の割合を増やしていきたい。</p> <p>効率的に受精卵を生産するための方法も検討している。</p> <p>特に千葉県は、日本で初めて乳用牛の受精卵供給を始めた県である。そのため事業に対する取り組みも熱心である。山梨よりも効率的に受精卵を生産している。</p> <p>ある。受精卵供給促進事業の中で、他県とも共同で効率的な受精卵生産について検討しているところである。</p> <p>今のところ、その動きはない。どの県も県で作った受精卵は県内流通が基本。</p> <p>ある。山梨県は畜産の規模が小さいながらも、少数精鋭で頑張っている。</p>

アドバイザー	質問内容	説明者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー	山梨県の乳用牛の評価は全国的に見てどうか？	課長 鎌田 健義	乳用牛の評価を競う品評会があるが、東日本や全国などの大会で上位入賞を果たしており、山梨県の乳用牛の評価は高まっている。
五味アドバイザー	受精卵の販売価格は他県と比較しても、ずいぶん安いようだが。	課長 鎌田 健義 主任 内田 雄祐	価格設定は、基本的には経費の積み上げ。利用促進の意味も含めて、安く設定している。
小口アドバイザー	受精卵を購入しない農家は、どういう理由があるのか？  受精卵移植にリスクはあるのか？	主任 内田 雄祐	乳量として収益が出るのは3年以上先になる、目先の妊娠費用が受精卵移植の方が高いため、取り組みにくくなっているのではないかと。また、受精卵移植の子牛は優秀でも自分の家の血統ではないため、心情的に取り組みにくくなっているのではないかと。しかし、農業をめぐる情勢が厳しい中、しっかりと費用対効果を説明して取り組みを推進していく必要がある。  ない。